

評価結果のフォローアップ

長岡市通学路の安全対策（第2期）
（防災・安全）

成果の達成度

評価委員会（令和5年2月）

目標を定量化する指標								
指標		従前値	基準年度	目標値		評価値 (見込)	評価時期	達成度
				目標値	目標年度			
指標1	歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	63%	H30当初	78%	R4末	82%	R5.2	○
指標2	踏切整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	75%	H30当初	100%	R4末	80%	R5.2	△
指標3	歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	81%	H30当初	100%	R4末	98%	R5.2	○

フォローアップ（令和5年6月）



目標を定量化する指標								
指標		従前値	基準年度	目標値		評価値 (確定)	評価年度	達成度
				目標値	目標年度			
指標1	歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	63%	H30当初	78%	R4末	82%	R5.6	○
指標2	踏切整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	75%	H30当初	100%	R4末	80%	R5.6	△
指標3	歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	81%	H30当初	100%	R4末	98%	R5.6	○

目標達成度の凡例：○評価値が目標値を上回った場合
 △目標達成はしていないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 ×目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

成果の達成度

■プログラムの要対策箇所

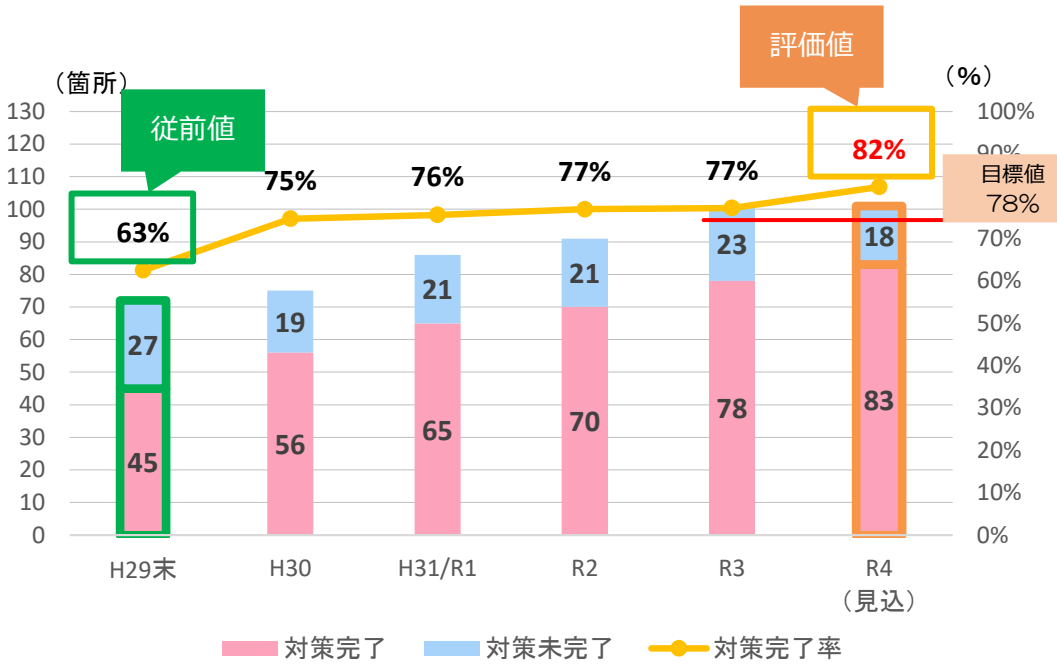
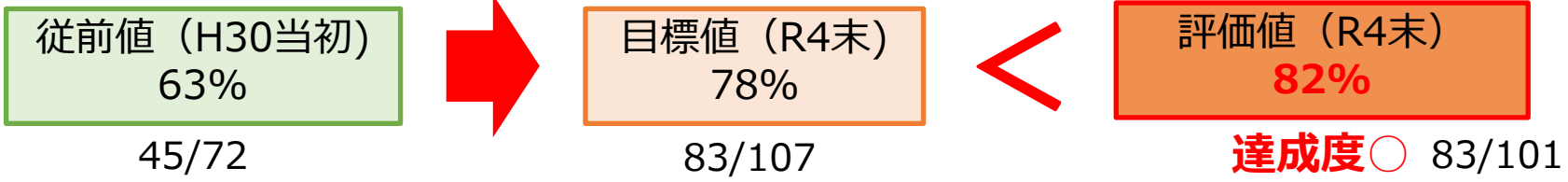
- 長岡市道路管理者分の要対策事業（385箇所）について評価
※385箇所はH28年度末時点現在

要対策箇所					
全体数量 1,013箇所					
教育委員会	警察	道路管理者（536）			
57	420	国	新潟県	長岡市（385箇所）	
		6	145	指標対象	それ以外
				117	268

令和3年度末時点
では146箇所

指標 1 :歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率

歩道空間確保における、要対策箇所の対策率の推移

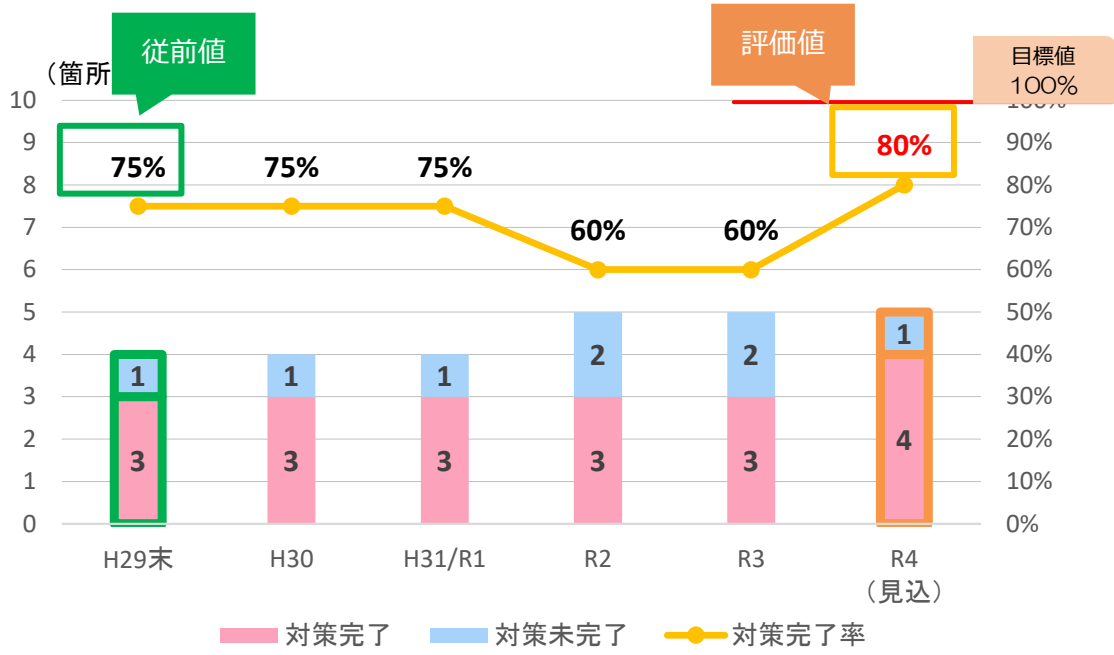
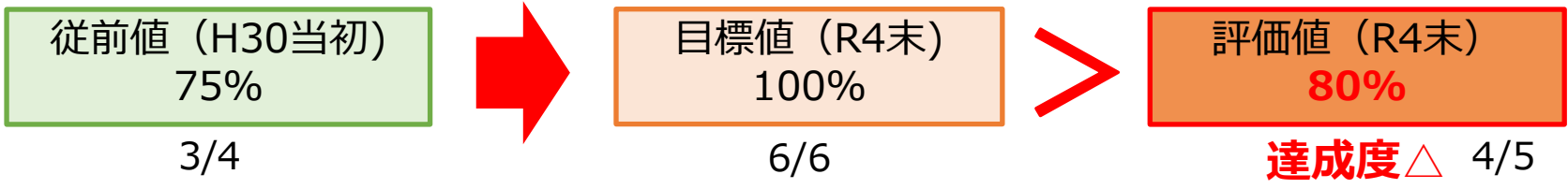


考察

○従前値63%に対して、目標値を78%としていたが、令和4年度末時点で82%となり目標を達成できた。

指標 2:踏切整備に関する要対策箇所の対策率

踏切整備に関する、要対策箇所の対策率の推移



考察

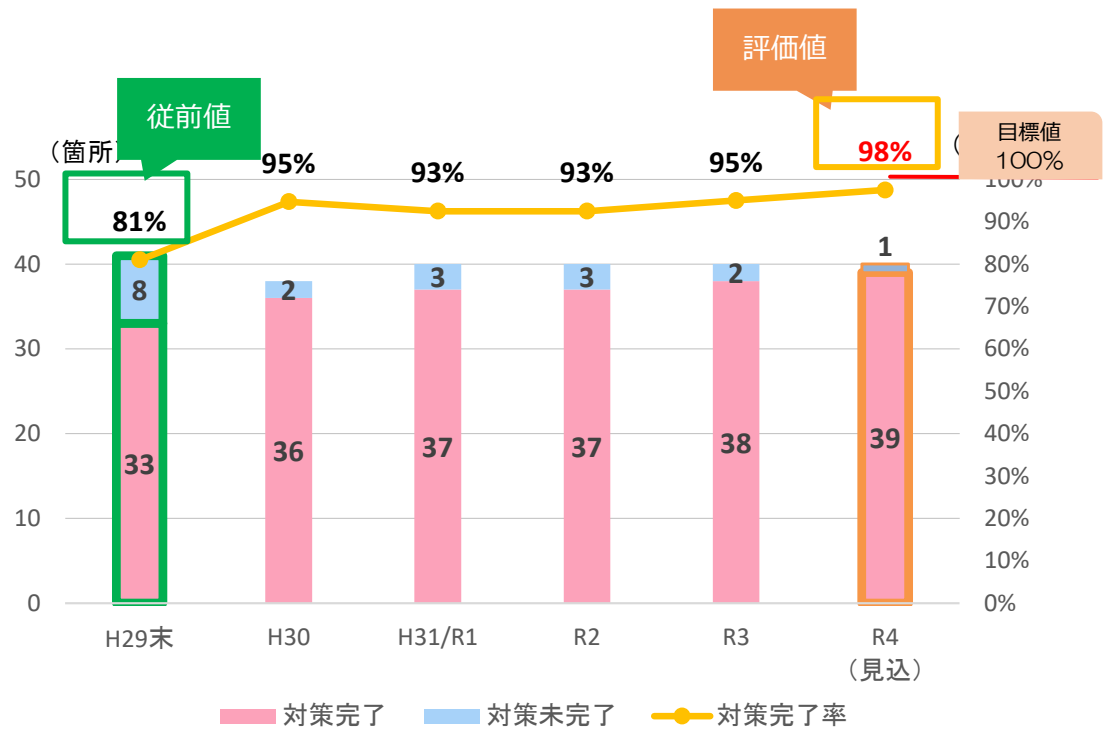
- H30年度の設定値75%に対して、目標値を100%としていたが、令和4年度末時点で80%となり目標は達成できなかったが、従前値より改善した。
- 完了していない1箇所については、当該踏切を利用せずに、近隣に整備されている線路地下道へ通学路を変更する方向で調整を進める。



指標 3:歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所の対策率

歩道消雪パイプ整備に関する、要対策箇所の対策率の推移

従前値 (H30当初) 81% 33/41	➔	目標値 (R4末) 100% 54/54	≡	評価値 (R4末) 98% 達成度○ 39/40
-----------------------------	---	----------------------------	---	--------------------------------



考察

- H30年度の設定値81%に対して、目標値を100%としていたが、令和4年度末時点で98%となったが、残りの1箇所についても概ね見通しが付いていると評価監視委員会において評価を受けた。
- 完了していない1箇所については歩道除雪で対応しており、スクールバスを利用している現状も踏まえて地元との協議を継続している。



今後の通学路の安全対策について

事業前の課題	達成されたこと（効果） 残された課題		効果持続方策 改善方策	想定される事業
通学路に危険箇所があり、交通事故の懸念	達成されたこと、その効果	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備及び歩道消雪パイプ整備については目標達成見込み。 踏切整備については未達成ではあったが、事業が着実に進んでいる。 <p>⇒通学路の安全性が向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通学路交通安全プログラムの適正な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○本整備計画で着手したが、未完了である事業 <ul style="list-style-type: none"> 歩道整備 路肩整備 グリーンベルト整備 踏切拡幅整備 歩道消雪パイプ整備 ○今後通学路交通安全プログラムで対策が必要と判断される事業 ○ソフト対策との連携
	残された課題、新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> まだ整備が終わっていない危険箇所がある。 新たな危険箇所への対策が必要である。 <p>⇒継続して対策を実施</p>		